

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。筆を執っても心持は同じ事である。よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。

これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。

私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。

筆を執っても心持は同じ事である。

よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。筆を執っても心持は同じ事である。よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。筆を執っても心持は同じ事である。よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。

これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。

私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。

筆を執っても心持は同じ事である。

よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。

これは世間を憚かる遠慮というよりも、その方が私にとって

自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」と

いいたくなる。筆を執っても心持は同じ事である。

よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

特徴量として文字の
N グラム（特定の文字が
連続して出現するまとまり）
のみを使うため、任意の
言語に対してモデルを学習、
適用できます
(Language Neutral)。

BudouX はこのように
Small, Standalone,
Language Neutral の
3 つを基本的な方針として
開発を進めています。